

# ひまわり

Vol. 114

編集 中村建設(株)

四時市小古曽1-1-7

隔月発行

感動は人を変える  
笑いは人を油する  
夢は人を豊かにする

そして、感動し、笑い、夢を抱くことが  
未来のは人間だけである。

世界でたゞ一人の私をどんな自分に  
仕上げていいか、その責任者が私が

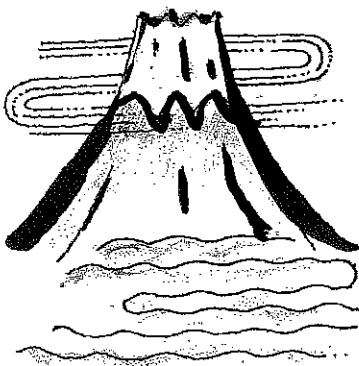
であり、皆さん一人ひとりです。

自分を育てるのは自分

「汝、自身を知れ

汝、自身について考えよ」

ソクラテス



## あじの山

一、あたまを雲の上に出し

四方の山を見下ろして

かみなりさまで下にきく

あじは日本一の山

二、青空高くそびえたち

からだに雪のきものきて  
かすみのすそをとおくひく

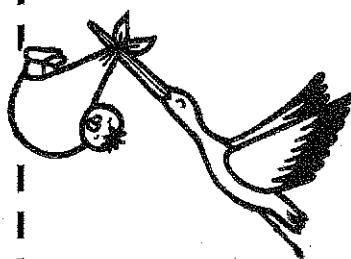
あじは日本一の山

あじの山

(タサヒモジ)

古くから数多くの芸術作品の題材に取り上げ 標高 3776.12m  
られ、今尚 優美な風貌を見せてくれるやま! (日本最高峰の独立峰)

Mount Fuji



ありがとうございます

## 〈お客様からのお声〉

まさか三世代同居するとは思ってもいませんでした。しかし、娘に子供が生まれ、娘達夫婦も私達夫婦も同居を考えるようになりました。

さて、それからが大変でした。娘の夫には肩身の狭い思いをさせてはいけない、別棟を建てるにも土地が狭い、・・・。そこで、「三世代同居で幸せな暮らしができる家を作ってください」と中村建設さんに丸投げしました。建ぺい率等々、難題が多く、随分と頭の痛いお仕事だったと思います。しかし、快くお引き受け下さり、娘家族にとって小さいながらも大満足な家を建てて頂きました。

孫はアレルギー体質なので、自然に近い木をふんだんに使い、娘の夫のこだわりのレコード部屋もできました。そして、私がこだわった門扉から玄関アプローチも素敵に造って頂きました。また、朝倉さんと馬場さんにお手伝い頂き造った坪庭（？）には、亡き義父の形見のガラスもうまく收まり、輝きを放っています。

中村建設さんには、亡き義父の代から今日までお世話になり、そして今後も家のこと諸々お任せできる安心感があります。

近所の挨拶回りから始まり、近所の挨拶回りで終わる、住む人の心に伝わる中村建設さんの流儀を私自身大切にしていきたいと思っております。

孫の成長を眺めつつ今ある暮らしに感謝です。ありがとうございます。

四時市三滝台 S様より

二世代も三世代も

生きた時代の差があれど

愛と理解で助け合う

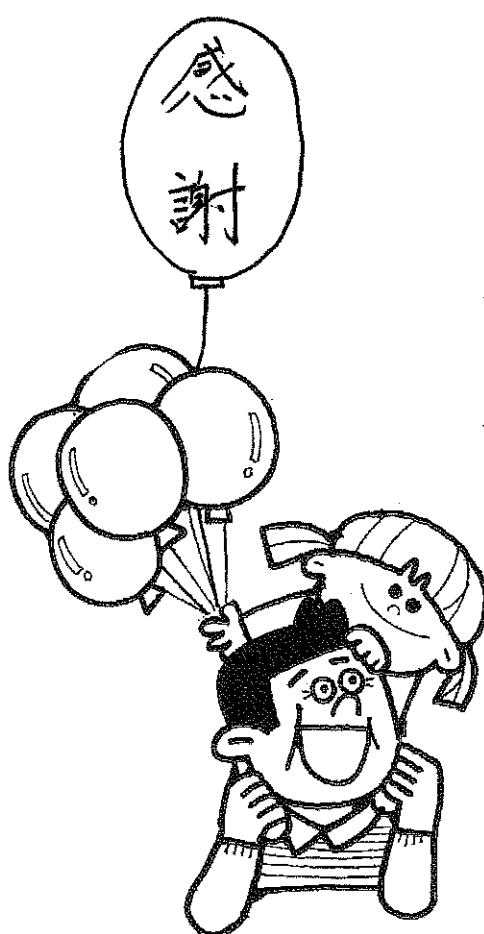
老とも偉いが、子も偉い

旧時代 新時代

時代の感覚変わつても

親子の意気の通い合

老若同居で幸を生む



## 社長のひとり言

常識を疑つてみよう！

私が含めて世の中の人は「そんなこと

常識の範囲内ですよ」と云ふると、

自分ではそうかなあ(?)と思ひながらも

妙に納得してしまうことが多いのは何故でしょう。特にマスコミなどで繰り返し報道されたり、時の有名人が良いとか、使ふるとか云うと、多くの人達は

それが正しいことだと思って一まうます。

例えは、住宅づくりで住宅誌やネット情報

の中に、居間から階段を付けるのが最も良

です。子供さんが外から帰つて来る時に

必ず親の目の届くところを通つて

浴室に入って行くので、子供の状態が

良く分かるのであると…。これをメリットとするならば、逆にデメリットがあることも

考えてみることが必要です。

居間から階段を付けて二オイや音が昇つて行く事や、青春期の子供にとっては、いつも親が自分を看視してゐるようで嫌だと云ふた声も聞こえて来らうです。自分を信用してないのでは、どうせ子供は思つて一まうので一まうか。

又、住まいを造る時、先人の言葉を思ひ出すのが一つです。

乳児は肌を離さず！  
幼児は手を離さず！  
少年は目を離さず！  
青年は心を離さず！

(4.29.2.16 記)

希望をもつて次のステップに飛躍して行つて頂きたが！

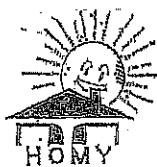
とにかく、子供がどのまゝな人間に育つて欲しいが、親としてどう関わつて行くべきか考えて住まいづくりを決めることが必要なのは…。

とにかく、子供がどのまゝな人間に育つて欲しいが、親としてどう関わつて行くべきか考えて住まいづくりを決めることが必要なのは…。

とにかく、子供がどのまゝな人間に育つて欲しいが、親としてどう関わつて行くべきか考えて住まいづくりを決めることが必要なのは…。

とにかく、子供がどのまゝな人間に育つて欲しいが、親としてどう関わつて行くべきか考えて住まいづくりを決めることが必要なのは…。

いつも いつも  
ありがとうございます！



# 「ホーミー教室」です。

居は気を移す

人が生活するうえで

欠かせない基本的なもの…

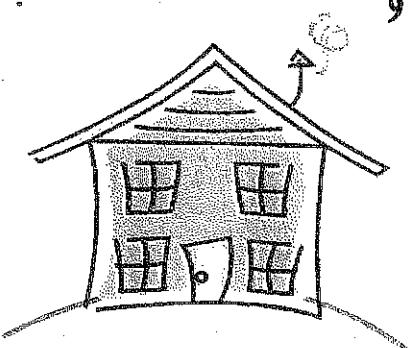
それは「衣・食・住」といわれます。

なかでも、私たちが寝て、起きて、食事をする  
「住まい」は、最も長い時間を過ごす大切な場所  
です。

私たちの心とからだは、「住まい」の生活環境に  
よってさまざまに変化していきます。

住まいの環境作用は目に見えないため、だれも  
あまり気にしません。しかし、住まいの環境は、  
家族の心やからだに影響を与え、よくも悪くも  
家族の人格形成にかかりわりを持ちます。

「居は気を移す」という孟子の名言は、家族の  
性格(気持ち)が、「住まい」によって変化すること  
を表現したもののです。



## 家族と住まいと環境の勉強会

ホーミー四日市教室 開催します

TEL: 059-345-7726

NPO法人幸せな家庭環境をつくる会三重支部

〒510-0958 四日市市小古曾1-1-7 中村建設株式会社(内)

★リタケ★ 0120-834181

